

### 日本からメキシコそして世界へ



#### ■ 仕事の内容

#### メキシコより

私は日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画の研修生として、メキシコ国立自治大学でスペイン語を勉強しています。クラスメイトにはさまざまな人種、国籍の人がおり、各国の問題点等を話しあうことで、日本の素晴らしさを再認識するとともに、日本に対する新たな着眼点を得ることができ、充実した毎日を送っています。

また、日本のほぼ裏側にあるメキシコからでも、リアルタイムに日本の情報を得たり、日本の家族・友人と連絡を取り合うことができる現状から、情報通信技術の発展が私たちの生活に大きな変化を与えていることを実感しています。

このように、情報通信技術は今後も社会の在り方を変え、さらに利便性を向上させていくと思います。そして今、舞台は世界に広がっています。日本の技術が海を越えて、これまで以上に世界に広がっていくよう、この研修で習得したスペイン語を今後の業務に活かしていければと思います。

#### ■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

#### 総務省での仕事

総務省というと、漠然と大きな仕事をしている所というイメージを持たれる方も多くいると思います。入省当時私が所属していた高度通信網振興課では、障がい者の方も積極的に働けるような環境を整えるために必要なネットワーク条件に関する実証実験をしていました。その実験に参加していた生徒の方から、「私も健常者と同じように働くことができるかもしれない。人の役に立てるかもしれない。この実験を通じて自信が持てました。」という言葉をいただいたことがありました。確かに、情報通信技術の発展というと仰々しく聞こえるかもしれませんが、一つ一つの事業は、必要としている個人のためにあるのだと思います。

これはほんの一例ですが、このような大きな可能性を持った細やかな仕事は、やりがいがあると思いませんか？みなさんの夢を叶える場所として、総務省を選んでいただければ幸いです。

#### ■ PRIVATE TIME

日本文化を広めるため、また学生時代剣道部だったこともあり、メキシコでも大学の剣道部の練習に参加させてもらっています。メキシコでは防具等を扱っているお店がないので、防具一式買い揃えるのは至難の業ですが、多くの学生がインターネット等を活用して手に入れ、日々稽古に励んでいます。剣道は、礼儀作法を重んじる武道ですが、ここメキシコでもその精神は忘れられていません。(筆者前列中央)



#### ■ PROFILE

Riyoka Imaizumi

- 平成21年 4月 総務省採用  
総合通信基盤局電気通信事業部  
高度通信網振興課
- 平成23年 4月 大臣官房会計課
- 平成25年 8月 現職

#### とある 一週間

##### ■ MONDAY

午前はスペイン語と会話の授業。午後は発表会に向けてサルスラの授業と自主練習。

##### ■ TUESDAY

授業後、先生とクラスメイトとともに大学近くの遺跡探検。

##### ■ WEDNESDAY

授業後、剣道部の練習に参加。

##### ■ THURSDAY

午前はスペイン語、午後はメキシコの地理の授業。各州の特徴や名産品を教えてもらい、次の旅行の参考に。

##### ■ FRIDAY

授業後、来週のテストに向けて図書館で勉強。

地方自治体

関係機関

海外

留学